

小學算術教科書 卷四

山田正一著述

特37

182

大日本教育會館			
一	三	三	三
〇	四	三	三
六	架	函	函
號			
七			
册			

京都府立第一中學校教員  
山田正一著述

卷四

# 小學筆算教科書

京都育英書房 福井正實堂

小學筆算教科書卷之四

## 第一節

乘法

左の乘算九九を諸記せよ

一一、一	一二、二	一三、三	一四、四
一五、五	一六、六	一七、七	一八、八
一九、九	二〇、四	二一、六	二二、八
二五、十	二六、十二	二七、十四	二八、十六
二九、十六	三〇、九	三一、十二	三二、十五
三六、十八	三七、二十一	三八、二十四	三九、二十七

小學筆算教科書 卷之四 一 正實堂發行

四四、十六、	四五、二十、	四六、二十四、	四七、二十八、
四八、三十二、	四九、三十六、	五五、二十五、	五六、三十、
五七、三十五、	五八、四十、	五九、四十五、	六六、三十六、
六七、四十二、	六八、四十八、	六九、五十四、	七七、四十九、
七八、五十六、	七九、六十三、	八八、六十四、	八九、七十二、
九九、八十一、			

例題

左の算用数字の設題ハ其上敷  
ニ下敷を乗とへきと示とせり

- (一) 一と一と乗とれば何程とせりや 又二と一と乗とれば何程ぞ
- 3 1    4 1    5 1    6 1    7 1    8 1    9 1
- 1 1    1 2    1 3    1 4    1 5    1 6    1 7

- (二) 一と二と乗とれば何程とせりや 又二と二と乗とれば何程ぞ
- 3 2    4 2    5 2    6 2    7 2    8 2    9 2
- 2 2    2 3    2 4    2 5    2 6    2 7    2 8
- (三) 一と三と乗とれば何程とせりや 又二と三と乗とれば何程ぞ
- 3 3    4 3    5 3    6 3    7 3    8 3    9 3
- 3 3    3 4    3 5    3 6    3 7    3 8    3 9
- (四) 一と四と乗とれば何程とせりや 又二と四と乗とれば何程ぞ
- 3 4    4 4    5 4    6 4    7 4    8 4    9 4
- 4 4    4 5    4 6    4 7    4 8    4 9
- (五) 一と五と乗とれば何程とせりや 又二と五と乗とれば何程ぞ
- 3 5    4 5    5 5    6 5    7 5    8 5    9 5
- 5 5    5 6    5 7    5 8    5 9
- (六) 一と六と乗とれば何程とせりや 又二と六と乗とれば何程ぞ
- 3 6    4 6    5 6    6 6    7 6    8 6    9 6
- 6 6    6 7    6 8    6 9

(七) 一よ七を乗されば何程となるや 又二よ七を乗されば何程ぞ

$$\begin{array}{r} 37 \\ \underline{47} \\ 57 \\ \underline{67} \\ 77 \\ \underline{87} \\ 97 \end{array}$$

(八) 一よ八を乗されば何程となるや 又二よ八を乗されば何程ぞ

$$\begin{array}{r} 38 \\ \underline{48} \\ 58 \\ \underline{68} \\ 78 \\ \underline{88} \\ 98 \end{array}$$

(九) 一よ九を乗されば何程となるや 又二よ九を乗されば何程ぞ

$$\begin{array}{r} 39 \\ \underline{49} \\ 59 \\ \underline{69} \\ 79 \\ \underline{89} \\ 99 \end{array}$$

(十) 金五錢よ四を乗されば幾錢となるや 又四錢よ五を乗されば如何

(十一) 金七圓よ三を乗されば幾圓となるや 又三圓よ七を乗されば如何

(十二) 米四石よ八を乗されば幾石となるや 又六石よ九を乗されば如何

第二節 乗法の續き

例 金十二錢よ三を乗されば幾錢となるや

$$\begin{array}{r} 演算 \\ 123 \\ \underline{36} \\ 答三十六錢なり \end{array}$$

例題

(一) 米十一俵よ四を乗されば幾俵となるや

$$\begin{array}{r} (二) \\ 11 \\ \underline{2} \\ (三) \\ 11 \\ \underline{3} \\ (四) \\ 10 \\ \underline{6} \\ (五) \\ 11 \\ \underline{7} \\ (六) \\ 11 \\ \underline{8} \\ (七) \\ 10 \\ \underline{9} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (八) \\ 12 \\ \underline{2} \\ (九) \\ 12 \\ \underline{4} \\ (十) \\ 13 \\ \underline{2} \\ (十一) \\ 13 \\ \underline{3} \\ (十二) \\ 14 \\ \underline{2} \\ (十三) \\ 20 \\ \underline{2} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (十四) \\ 21 \\ \underline{3} \\ (十五) \\ 22 \\ \underline{2} \\ (十六) \\ 22 \\ \underline{3} \\ (十七) \\ 20 \\ \underline{4} \\ (十八) \\ 23 \\ \underline{3} \\ (十九) \\ 31 \\ \underline{2} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (二十) \\ 30 \\ \underline{3} \\ (二十一) \\ 32 \\ \underline{3} \\ (二十二) \\ 33 \\ \underline{2} \\ (二十三) \\ 33 \\ \underline{3} \\ (二十四) \\ 40 \\ \underline{2} \\ (二十五) \\ 42 \\ \underline{2} \end{array}$$

第三節 乗法の續き

例 百二十三よ二を乗ざれば何程とせらや

$$\begin{array}{r} \text{演算} \\ 123 \\ \underline{2} \\ 246 \end{array}$$

答二百四十六なり

例題

(一)	(七)	(-)
$\begin{array}{r} 331 \\ \underline{3} \end{array}$	$\begin{array}{r} 231 \\ \underline{2} \end{array}$	$\begin{array}{r} 114 \\ \underline{2} \end{array}$
(二)	(八)	(=)
$\begin{array}{r} 302 \\ \underline{3} \end{array}$	$\begin{array}{r} 243 \\ \underline{2} \end{array}$	$\begin{array}{r} 121 \\ \underline{3} \end{array}$
(三)	(九)	(三)
$\begin{array}{r} 232 \\ \underline{3} \end{array}$	$\begin{array}{r} 202 \\ \underline{4} \end{array}$	$\begin{array}{r} 142 \\ \underline{2} \end{array}$
(四)	(+)	(四)
$\begin{array}{r} 423 \\ \underline{2} \end{array}$	$\begin{array}{r} 230 \\ \underline{3} \end{array}$	$\begin{array}{r} 130 \\ \underline{3} \end{array}$
(五)	(±)	(五)
$\begin{array}{r} 420 \\ \underline{2} \end{array}$	$\begin{array}{r} 222 \\ \underline{4} \end{array}$	$\begin{array}{r} 213 \\ \underline{2} \end{array}$
(六)	(±)	(六)
$\begin{array}{r} 404 \\ \underline{2} \end{array}$	$\begin{array}{r} 312 \\ \underline{3} \end{array}$	$\begin{array}{r} 221 \\ \underline{3} \end{array}$

第四節 乗法の續き

(一) 二と二との和の何程とせらや

$$\begin{array}{r} \text{演算} \\ 22 \\ \underline{4} \end{array}$$

此和の四の二を二個合せたる数なるゆへ之を二の二倍の数と云ふ

(二) 三と三との和の何程とせらや

$$\begin{array}{r} \text{演算} \\ 33 \\ \underline{6} \end{array}$$

此和の六の三を二個合せたる数なるゆへ之を三の二倍の数と云ふ

右の如く同数と二個合せると其数と二倍と云ひ合せると和と其数の二倍の数又單よ二倍と云ふ

- (三) 四と二倍せが何程とせらや 五と二倍せが何程とせらや
- (四) 六と二倍せが何程とせらや 七の二倍の何程とせらや
- (五) 八の二倍の何程とせらや 九と二倍せが何程とせらや

凡て二倍の數と求めんよ其數は二と乗れば得るなり

(六) 十二の二倍は何程とせらるや 二十一の二倍は何程とせらるや

(七) 二十四の二倍は何程とせらるや 三十二と二倍は何程とせらるや

例 四と四と四との和は何程とせらるや

演算 4 4 4  
12

此和の十二の四と三個合せて得る和なる  
ゆへ之と四の三倍の數と云ふ

右の如く同數三個と合するを其數と三倍と云ひ合せたる和と其數の三倍の數又單は三倍と云ふ

(八) 三と三倍は何程とせらるや 二と三倍は何程とせらるや

(九) 五と三倍は何程とせらるや 八と三倍は何程とせらるや

(十) 一の二倍は何程とせらるや 七の二倍は何程とせらるや

凡て三倍の數と求めんよ其數は三と乗れば得るなり

(十一) 六の三倍は何程とせらるや 九の三倍は何程とせらるや

(十二) 十一の三倍は何程とせらるや 二十三と三倍は何程とせらるや

例 七と七と七との和は何程とせらるや

演算 7 7 7  
28

此和の二十八の七と四個合せて得る和  
なりゆへ之と七の四倍の數と云ふ

右の如く同數と四個合するを其數と四倍と云ひ合せたる和と其數の四倍の數又單は四倍と云ふ

(十三) 五と四倍は何程とせらるや 三と四倍は何程とせらるや

(十四) 九と四倍は何程とせらるや 十二と四倍は何程とせらるや

凡て四倍の數と求めんよ其數は四と乗れば得るなり

(十五) 四と四倍は何程とせらるや 八と四倍は何程とせらるや

(十六) 十と四倍は何程とせらるや 二十一の四倍は何程とせらるや

例 三と三と三と三と三との和は何程となるや

演算 33333 15

此の十五の三と五個合せしむる和する  
ゆへ之と三の五倍の數と云ふ

右の如く同數五個と合せしむる其數と五倍と云ひ合せしむる和と其數の五倍の數又單に五倍と云ふ

(甲) 六を五倍せし何程となるや 十一と五倍せし何程となるや

(乙) 二を五倍せし何程となるや 七の五倍の幾何となるや

凡て五倍の數と求めん所の其數を五と乘せし得るなり

(丙) 四の五倍の何程となるや 八の五倍の幾何の數となるや

(丁) 九の五倍の幾何となるや 十の五倍の幾何の數となるや

右の數例より由て同數六個の和の其數の六倍として其六倍の其數を六と乘せし得るなり

又同數七個の和の其數の七倍として其七倍の其數を七と乘せし得るなり由て左の問を答ふべし

(甲) 三の六倍の何程の數となるや 八の六倍の何程となるや

(乙) 五を七倍せし何程となるや 九を七倍せし何程となるや

(丙) 三を八倍せし何程となるや 十一の八倍の何程となるや

(丁) 四の九倍の何程となるや 十の九倍の何程の數となるや

(戊) 五を六個合せしむる和と五の幾倍と云ふや

(己) 三を九個合せしむる和と三の幾倍と云ふや

(庚) 二の五倍と求めん所の二の何數と乘せし得るや

(辛) 七の八倍と求めん所の七の何數と乘せし得るや

右の理より由れば其數の若干倍と求めんと欲せば其數を若干個と乘せし得るなり故に乘すと云ふ語の倍すと云ふ語と同一意義なり

第五節 乗法の續き

例 一枚の價金十三錢の石盤五枚を買へば幾錢を拂ふべしや

$$\begin{array}{r} \text{演算} \\ 13 \\ \underline{15} \\ 65 \end{array}$$

答六十五錢なり

又例 二十四を三倍せれば幾何の數となるや

$$\begin{array}{r} \text{演算} \\ 24 \\ \underline{13} \\ 72 \end{array}$$

答七十二なり

例題

- (一)  $\begin{array}{r} 12 \\ \underline{6} \end{array}$
- (二)  $\begin{array}{r} 18 \\ \underline{5} \end{array}$
- (三)  $\begin{array}{r} 23 \\ \underline{4} \end{array}$
- (四)  $\begin{array}{r} 27 \\ \underline{7} \end{array}$
- (五)  $\begin{array}{r} 29 \\ \underline{6} \end{array}$
- (六)  $\begin{array}{r} 45 \\ \underline{3} \end{array}$
- (七)  $\begin{array}{r} 41 \\ \underline{5} \end{array}$
- (八)  $\begin{array}{r} 37 \\ \underline{2} \end{array}$
- (九)  $\begin{array}{r} 34 \\ \underline{5} \end{array}$
- (十)  $\begin{array}{r} 52 \\ \underline{7} \end{array}$
- (十一)  $\begin{array}{r} 63 \\ \underline{5} \end{array}$
- (十二)  $\begin{array}{r} 56 \\ \underline{6} \end{array}$

- (十三)  $\begin{array}{r} 48 \\ \underline{6} \end{array}$
- (十四)  $\begin{array}{r} 73 \\ \underline{5} \end{array}$
- (十五)  $\begin{array}{r} 74 \\ \underline{4} \end{array}$
- (十六)  $\begin{array}{r} 81 \\ \underline{4} \end{array}$
- (十七)  $\begin{array}{r} 83 \\ \underline{5} \end{array}$
- (十八)  $\begin{array}{r} 95 \\ \underline{6} \end{array}$

例 四十五を七倍せれば何程となるや

$$\begin{array}{r} \text{演算} \\ 45 \\ \underline{37} \\ 315 \end{array}$$

答三百十五なり

- (十九)  $\begin{array}{r} 16 \\ \underline{7} \end{array}$
- (二十)  $\begin{array}{r} 28 \\ \underline{8} \end{array}$
- (二十一)  $\begin{array}{r} 25 \\ \underline{9} \end{array}$
- (二十二)  $\begin{array}{r} 36 \\ \underline{9} \end{array}$
- (二十三)  $\begin{array}{r} 48 \\ \underline{9} \end{array}$
- (二十四)  $\begin{array}{r} 39 \\ \underline{8} \end{array}$
- (二十五)  $\begin{array}{r} 58 \\ \underline{7} \end{array}$
- (二十六)  $\begin{array}{r} 63 \\ \underline{8} \end{array}$
- (二十七)  $\begin{array}{r} 67 \\ \underline{6} \end{array}$
- (二十八)  $\begin{array}{r} 77 \\ \underline{7} \end{array}$
- (二十九)  $\begin{array}{r} 85 \\ \underline{6} \end{array}$
- (三十)  $\begin{array}{r} 89 \\ \underline{7} \end{array}$
- (三十一)  $\begin{array}{r} 157 \\ \underline{5} \end{array}$
- (三十二)  $\begin{array}{r} 248 \\ \underline{3} \end{array}$
- (三十三)  $\begin{array}{r} 364 \\ \underline{3} \end{array}$
- (三十四)  $\begin{array}{r} 476 \\ \underline{4} \end{array}$
- (三十五)  $\begin{array}{r} 637 \\ \underline{5} \end{array}$
- (三十六)  $\begin{array}{r} 728 \\ \underline{7} \end{array}$

第六節 乗法の續き



(一) 前節の例題の如く一數に他數を乗する法と乘法と云ひ又掛算と云ふ

(二) 其一數と被乗數と云ひ他數と乗數と云ひ被乗數は乗數と乗して得たる數と積と云ふ

(三) 乘法はくわく×の記号を用ゆ之と乗号と名く此記号の左の被乗數を記し右の乗數と記するなり

例 7×5. と記せし七は五と

7×5=35.

と記せば七は五を乗して得たる積は三十五に等しと云ふを示す

(四) 乘法はたての七は五と乗するも五は七と乗するも其積三十五と得て相同しとゆへ被乗數より乗數多位なれば乗數は被乗數と乗して

其積と求むべし

例 一石の價金六圓の米三十七石の價は何程とせらば

演算 376 / 222

答二百二十二圓なり

此例ハ一石の價六圓の米三十七石の價と求むべきがゆへ六圓は三十七と乗すべきなり然る時の被乗數より乗數多位とせらるゆへ乗數の三十七は被乗數の六圓と乗して求める所の價と得る

例題

- (一) 38×5=?
(二) 49×3=?
(三) 74×7=?
(四) 9×82=?
(五) 67×6=?
(六) 4×53=?
(七) 124×3=?
(八) 216×8=?
(九) 6×158=?
(十) 325×8=?

第七節 乗法の續き

例 一千四百零七を八倍すること左の如し

演算

1407
8
-----
11256

答 一万一千二百五十六

例題

- (一)  $2587 \times 3 = ?$
- (二)  $5423 \times 4 = ?$
- (三)  $6718 \times 4 = ?$
- (四)  $4657 \times 5 = ?$
- (五)  $4302 \times 6 = ?$
- (六)  $2684 \times 5 = ?$
- (七)  $6719 \times 6 = ?$
- (八)  $5231 \times 7 = ?$
- (九)  $59634 \times 3 = ?$
- (十)  $48578 \times 6 = ?$
- (十一)  $27865 \times 7 = ?$
- (十二)  $34567 \times 8 = ?$
- (十三)  $86756 \times 8 = ?$
- (十四)  $45158 \times 9 = ?$
- (十五)  $74731 \times 9 = ?$

第八節 乗法の續き

乗數一位の乗法は於て積の正否と試さんと欲せば乗數より一と減りて其殘數と被乗數を乘し其積は被乗數と加へ然して其和と前より得る積と校ぶべし若し其和と前積と違ひあれば誤りありとのん

- (十六)  $15403 \times 5 = ?$
- (十七)  $57084 \times 3 = ?$
- (十八)  $46073 \times 7 = ?$
- (十九)  $20907 \times 5 = ?$
- (二十)  $60804 \times 6 = ?$
- (二十一)  $38009 \times 4 = ?$
- (二十二)  $40068 \times 4 = ?$
- (二十三)  $50047 \times 9 = ?$
- (二十四)  $97008 \times 7 = ?$
- (二十五)  $80760 \times 5 = ?$
- (二十六)  $30590 \times 8 = ?$
- (二十七)  $90008 \times 6 = ?$
- (二十八)  $728536 \times 3 = ?$
- (二十九)  $385724 \times 6 = ?$
- (三十)  $965073 \times 7 = ?$

例 五百十八と七と乗して其積の正否を試むること左の如く

$$\begin{array}{r}
 \text{演算} \\
 518 \\
 \times 7 \\
 \hline
 3626 \\
 7-1=6 \\
 518 \\
 \times 6 \\
 \hline
 3108 \\
 518 \\
 \hline
 3626
 \end{array}$$

乗数の七より一を減りたる残数六を被乗数に乘し其積と被乗数との和を求め之を前積に校

了は其數相同しはゆへ誤りなきことを知しむ

例題

左の數の積と求め次に其積の正否を試むる

- (一)  $1936 \begin{array}{r} 5 \\ \hline \end{array}$
- (二)  $2735 \begin{array}{r} 7 \\ \hline \end{array}$
- (三)  $4304 \begin{array}{r} 6 \\ \hline \end{array}$
- (四)  $3428 \begin{array}{r} 9 \\ \hline \end{array}$
- (五)  $6043 \begin{array}{r} 8 \\ \hline \end{array}$
- (六)  $2352 \begin{array}{r} 4 \\ \hline \end{array}$

第九節 乗法の續き例題

- (一) 縮緬一端の價と七圓とされば百五十五端の價は何程とせらるや
- (二) 車一輛に米八俵と積とされば三十六輛の車に幾何俵と積むや
- (三) 氷四百二十七斤入八箱の斤數は何程ありや
- (四) 鉛筆に十二本と以て一ダスと云ふ九ダスの鉛筆に幾本ありや
- (五) 松板五枚と以て一坪の床と張とされば百四十五坪の床板に幾枚と要せらるや
- (六) 長一間の軒端に七枚の瓦あり長二百十八間の軒端に幾枚の瓦ありや
- (七) 一枚のガラス障子に八枚のガラス板と要せるとすれば三百七十枚の障子に幾何のガラス板と要せらるや
- (八) 小學校に一日の授業時間と五時間と一ヶ年間の授業日數と凡そ二百五十八日とすと云ふとすれば一ヶ年間の授業時間は何時

とせりや

- (九) 又問ふ一週間の授業日数と六日と一ヶ年間よ四十一週間授業と  
るものとせむ一ヶ年間の授業日数の幾何とせりや
- (十) 八角時計一個の價と九圓とせむ八十七個の價の幾何圓とせりや
- (十一) 暖爐一個ニ付一日ふ平均七斤の石炭を焚とせむ冬期即ち十二月  
より翌年三月まで百三十一日間よ幾何斤の石炭と要せりや
- (十二) 綿羊一頭の價と九圓とせむ七百六十七頭の代金の幾何圓とせりや
- (十三) 銘酒一樽の價と七圓とせむ八百七十三樽の代金の幾何圓とせりや
- (十四) 一卷の羅紗と以て洋服五着と製すとせむ八十二卷の羅紗とてい  
幾着と製し得りや
- (十五) 小銃一挺の價と九圓とせむ三百八十五挺の代金の幾何圓とせりや
- (十六) 汽船一時間の速力と七海里とせむ四晝夜即ち九十六時間よ幾

何里行進とせりや

- (十七) 金一圓と付炭九俵代へとせむ代金百二十圓の炭の幾何俵とせりや
- (十八) 九軒の造酒家よて各五百三十七石宛の清酒と造るとせむ幾何の  
石高とせりや
- (十九) 一畝と付地代價七圓の田地百九十六畝の代價の幾何圓とせりや
- (二十) 田地一町歩の歩数の三千歩とせむ八町歩の歩数の幾何歩とせりや
- (二十一) 一頭の價百五十圓の乗馬八頭の價の幾何圓とせりや
- (二十二) 長二百八間の繩と九條繋ぎ合とせむ幾何の長とせりや
- (二十三) 或る學校の寄宿寮の寢室の一室七坪とせむ室數五十四ありと云ふ  
其総坪数の幾何ありや
- (二十四) 又問ふ其一室と九名の生徒の寢所とせむ幾何名の生徒と入るを  
せりや

第十節 乗法の續き 乗数二位以上のとき

例 金百六十八圓と十二倍とれば幾何圓とせらるや

$$\begin{array}{r} \text{演算} \\ 168 \\ \underline{12} \\ 336 \\ \underline{168} \\ 2016 \end{array}$$

答 二千零十六圓なり

例題

$$\begin{array}{r} \text{(一)} \\ 146 \\ \underline{14} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二)} \\ 157 \\ \underline{18} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(三)} \\ 235 \\ \underline{23} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(四)} \\ 263 \\ \underline{25} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(五)} \\ 272 \\ \underline{37} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(六)} \\ 369 \\ \underline{45} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(七)} \\ 424 \\ \underline{32} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(八)} \\ 346 \\ \underline{57} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(九)} \\ 283 \\ \underline{62} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十)} \\ 518 \\ \underline{69} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十一)} \\ 359 \\ \underline{75} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十二)} \\ 564 \\ \underline{46} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十三)} \\ 3574 \\ \underline{19} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十四)} \\ 4615 \\ \underline{16} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十五)} \\ 1278 \\ \underline{23} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十六)} \\ 2136 \\ \underline{42} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十七)} \\ 1753 \\ \underline{38} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十八)} \\ 5367 \\ \underline{52} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十九)} \\ 4937 \\ \underline{45} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二十)} \\ 4654 \\ \underline{63} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二十一)} \\ 7548 \\ \underline{76} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二十二)} \\ 6736 \\ \underline{81} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二十三)} \\ 5274 \\ \underline{94} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二十四)} \\ 7392 \\ \underline{87} \end{array}$$

第十一節 乗法の續き

例 二百十六と百五十三倍とるごとく左の如し

$$\begin{array}{r} \text{演算} \\ 216 \\ \underline{153} \\ 648 \\ 1080 \\ \underline{216} \\ 33048 \end{array}$$

答 三万三千零四十八なり

例題

$$\begin{array}{r} \text{(一)} \\ 256 \\ \underline{143} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二)} \\ 345 \\ \underline{164} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(三)} \\ 537 \\ \underline{216} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(四)} \\ 463 \\ \underline{272} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(五)} \\ 628 \\ \underline{327} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(六)} \\ 574 \\ \underline{385} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(七)} \\ 367 \\ \underline{452} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(八)} \\ 429 \\ \underline{568} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(九)} \\ 859 \\ \underline{721} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十)} \\ 306 \\ \underline{284} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十一)} \\ 608 \\ \underline{436} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(十二)} \\ 701 \\ \underline{619} \end{array}$$

- (一)  $35037 \times 206 = ?$
- (二)  $40765 \times 504 = ?$
- (三)  $62543 \times 708 = ?$
- (四)  $4908 \times 4037 = ?$
- (五)  $6054 \times 3042 = ?$
- (六)  $5309 \times 6403 = ?$
- (七)  $7046 \times 4705 = ?$
- (八)  $65245 \times 3004 = ?$
- (九)  $27316 \times 4008 = ?$
- (十)  $51062 \times 100 = ?$

例題

演算  

$$\begin{array}{r} 4500 \\ 230 \\ \hline 135 \\ 90 \\ \hline 1035000 \end{array}$$

答百零三万五千をり

又例 四千五百と二百三十倍をりこと左の如し

- (十一)  $2452 \times 135 = ?$
- (十二)  $3176 \times 243 = ?$
- (十三)  $5243 \times 372 = ?$
- (十四)  $2645 \times 494 = ?$
- (十五)  $7534 \times 527 = ?$
- (十六)  $6387 \times 658 = ?$
- (十七)  $5498 \times 386 = ?$
- (十八)  $6706 \times 465 = ?$
- (十九)  $5803 \times 673 = ?$
- (二十)  $3067 \times 534 = ?$
- (二十一)  $9048 \times 286 = ?$
- (二十二)  $35003 \times 385 = ?$
- (二十三)  $27004 \times 428 = ?$
- (二十四)  $18605 \times 814 = ?$
- (二十五)  $34093 \times 732 = ?$

第十二節 乗法の續き

例 七百二十五と百零七と乘すること左の如し

演算  

$$\begin{array}{r} 725 \\ 107 \\ \hline 12075 \\ 7250 \\ \hline 84575 \end{array}$$

答八万四千五百七十五をり

- (士)  $74650 \times 100 = ?$
- (±)  $23500 \times 300 = ?$
- (≡)  $30026 \times 400 = ?$
- (♁)  $60800 \times 750 = ?$
- (主)  $8217 \times 2800 = ?$
- (去)  $5060 \times 4500 = ?$
- (±)  $4180 \times 1000 = ?$
- (大)  $5270 \times 3700 = ?$
- (九)  $29000 \times 800 = ?$
- (平)  $4238 \times 4238 = ?$

第十三節 乗法の續き

乗数二位以上の乗法は於て其積の正否如何を試さんと欲せば乗数は被乗数を乗して積を求め然して其積と前積を校むべし若し其兩積同數ならざれば違算あるものとす

例 三百五十七に四十六を乗して其積の正否を試むること左の如し

演算

$$\begin{array}{r} 357 \\ 46 \\ \hline 2142 \\ 1428 \\ \hline 16422 \end{array}$$

乗数は被乗数を乗して得たる積と前積と同じなり此算誤りなき也

例題

左の數の積を求め次に其積の正否を試むべし

- (一)  $\begin{array}{r} 3146 \\ 175 \\ \hline \end{array}$
- (二)  $\begin{array}{r} 4093 \\ 324 \\ \hline \end{array}$
- (三)  $\begin{array}{r} 4618 \\ 632 \\ \hline \end{array}$
- (四)  $\begin{array}{r} 1567 \\ 406 \\ \hline \end{array}$
- (五)  $\begin{array}{r} 28126 \\ 247 \\ \hline \end{array}$
- (六)  $\begin{array}{r} 30204 \\ 528 \\ \hline \end{array}$

第十四節 乗法の續き例題

(一) 一町の田地より十八石の米を獲るとせん四十五町の田地より幾何の米を獲るや

(二) 田地一段の地價と金六十七圓とすれば二十三段の地價ハ幾何圓を

- (三) 薪三十六束と積きたる車十三輛の薪の數ハ幾何束なりや
- (四) 或小學校ニ十九教場ありて其教場毎ニ生徒机十五脚の備ありと云ふ其總數ハ幾何脚ありや
- (五) 洋服一着の價と金二十四圓とどれハ十八着の價ハ幾何圓となりや
- (六) 田地の一段ハ三百歩なり二十五段の歩數ハ幾何なりや
- (七) 道路の一町ハ六十間なり四十二町ハ幾何町なりや
- (八) 每卷の長三十三ヤードの羅紗八十六卷のヤード數ハ幾何なりや
- (九) 月俸八十圓と年給とどれハ幾何圓となりや
- (十) 一時間の分數ハ六十分なり一晝夜即チ二十四時間の分數ハ幾何ありや
- (十一) 傭女一名と一日ハ三十五坪の草と刈るとどれハ十九名と一日ハ刈り取草ハ幾何坪なりや

- (十二) 金一圓ニ舟二十八束替への薪ハ金十七圓と幾何束ありや
- (十三) 十二列車の汽車と一列車毎ニ乗客九十六名とすれば總乗客ハ幾何名ありや
- (十四) 瓦ハ六十枚と以テ一坪の屋根と算くと云ふとどれハ五十八坪の屋根ハ幾何枚の瓦と要となりや
- (十五) 一時間ハ十三海里と走る汽船と一晝夜即チ四十八時間ハ幾何海里と走るや
- (十六) 一函四十八斤入りたる氷二十五函の斤數ハ幾何ありや
- (十七) 北海道の面積ハ六千九百三十三方里と一万里の人口ハ平均二十八人なりと云ふ總人口幾何ありや
- (十八) 一ヶ月の學資金四十五圓の豫算と以テ二年半間英國ハ留學せんとハ幾何圓の金と準備とすべきや



(九)北牛一頭の價と金九十七圓と云ふ其六十三頭の價ハ幾圓なりや  
(十)或る商店の純益ハ一ヶ月平均金百四十七圓ニ當ると云ふ一ヶ年間の純益ハ幾何圓なりや

(十一)毎冊二百四十五枚の帳簿七十五冊を製する紙數ハ幾何枚と要するや

(十二)織殿に備へたる機械ハ二十六基ありて毎基一日ハ二百二十五ヤードの羅紗を織揚ると云ふ総機械より一日ハ幾何ヤードの羅紗を織揚るや

(十三)明治十四年一ヶ年間は火災ハ罹りたる家ハ四万三千百十三戸なりと云ふ其家屋の價と平均三百七十五圓と云ふ焼失せし家屋の代價ハ幾何圓と云ふや

(十四)明治十二年の清酒造高ハ五百一万五千二百二十七石なりと云ふ其一石の價と平均十四圓と云ふれば総金額ハ幾何圓と云ふや

(十五)明治十三年の調査據より民有宅地の段別ハ二十四万五千八百十二町歩ありと云ふ其一町歩の地價を金三百九十二圓とすれば総地價幾何圓と云ふや

(十六)煉火石造の家ハ其作料一坪毎ハ九金百二十七圓と要すと云ふと云ふ建坪ハ十五坪の家を造らんもの幾何圓の金を準備と云ふや

(十七)人夫五十八名を使役せし一等道路一町を修理せしと云ふと云ふが長百十九町の一等道路を修理する人夫の幾名を要するや

(十八)一時間の水流五十三町の河へ筏を流し時ハ一晝夜より幾町と下るや

(十九)或る會社の純益金配當ハ株券百圓ニ付二十七圓の割なりと云ふと云ふが三千五百圓の株券を對する配當金の幾何圓なりや

(二十)明治十三年六月の調査據より民有の田地段別ハ二百六十二万二千

五百八十二町歩と云ふ然して其一町の歩數の三千歩と云ふれ  
の民有田地の歩數の幾何なりや

第十五節 乗法の續き加減兼合用問題

二數三數等と總括する為め( )又ハの記号を用ひ其弧と括弧と名け  
横線と括弧線と名く其用法の左の如く

二十五と十八と

例 の差の五倍を記

せんと欲せば

$$(25 - 18) \times 5.$$

又ハ

$$\frac{25 - 18}{1} \times 5.$$

と記す

(一) 百二十五と六十三との和の十五倍の何程となるや

(二) 二百六と八十八との差の二十三倍の何程となるや

(三) 一千より四十八の七倍と十九の二十倍とを減けの何程残るや

(四) 金二十七圓の十三倍と三十五圓の七倍との和の幾何となるや

(五) 金五十四圓の九倍の四十二圓の十一倍より幾何圓多きや

(六) 一尺價三錢の水綿九尺を買ふて五十錢の銀貨を渡せば幾錢の剩餘  
と受取るべききや

(七) 一端の價七圓の縮緬三十五端と三圓の紬四十三端との價の幾何圓  
となるや

(八) 一匹の原價十七圓の友仙漆縮緬五十三匹を一匹十九圓宛に賣ると  
幾何圓の利益とするや

(九) 一石代金五圓の玄米十八石の代金と以て一反の田地を買ひしより二  
十圓餘りしと云ふ其地價幾何圓なりや

- (+)  $156 \times 3 - (214 + 28) = ?$
- (±)  $98 + 6 \times (37 + 50) = ?$
- (±)  $15 \times (64 - 30) - 150 = ?$
- (±)  $425 + 84 \times 3 - 500 = ?$
- (±)  $100 + (99 - 45) \times 4 = ?$
- (±)  $(125 + 48) \times (100 - 56) = ?$
- (±)  $(350 - 240) \times (208 - 35) = ?$
- (±)  $3 \times \overline{75 + 23} + 4 \times \overline{64 - 25} = ?$
- (±)  $9 \times \overline{200 - 120} - 12 \times \overline{19 + 8} = ?$
- (±)  $\overline{7 \times (15 + 27) - 5 \times 46} \times 13 = ?$

- (甲) 一壘三合入の麥酒十壘の量と四合入八壘の量との何れが多きや
- (乙) 一石十七圓の酒五石と水二石と混合して一石十五圓は賣る時の益なりや損なりや其金買の何程そ
- (丙) 一石十八圓の酒七石と十四圓の酒九石とを合せて每石十六圓

は賣る時の益り損なりと知らぬ其金圓の何程なりや

- (甲) 每斤二十七錢の煙草九斤の價と每斤十八錢の煙草十五斤の價との何れが多きや
- (乙) 一石ニ付價七圓の玄米と五圓の麥各二十五石と八圓の糯十八石とを賣ると幾何圓と請取るべきや
- (丙) 一頭價百十八圓の洋牛十三頭と一頭三十九圓の和牛十七頭とを買ふ時の幾何圓と拂ふべきや
- (丁) 一日一人して四十五坪の草と刈るべき男四十二人と三十二坪と刈るべき女二十三人とを雇ふ時の一日は幾何坪の草と刈るべきや
- (戊) 甲乙の脚夫同所を發足して甲は正東に向ひ毎日十五里宛歩きて八日乙は正西に向ひ毎日十三里歩きて十一日と行く時の甲乙幾何里の隔りとなるや

(天) 十八俵と積たる車三輛とて五回十四俵と積たる車七輛とて三回ふしと運ぶ盡したる米の幾何俵なりや

(五) 五名の工人とて十八日と費やるとして事業と一名よ作らぬの幾日と費やらんや

(三) 三名の工夫とて十六日と費やるとして事業の三倍と一名よ作らぬの幾日と費やらんや

(三) 一枚毎に二十行其一行は二十四字宛記して五十八枚の紙と要する文字数の幾何なりや

(三) 一時間と十二海里と走る汽船或る港と抜錨して正南に向ふ四時間走りし後一時間と十五海里と走る汽船全港と抜錨して同針路に向ふ十八時間走る時の両船の距離幾何なりや

小學算教科書卷之四終

答の節二第

(一) 四十四俵	(二) 22、	(三) 33、	(四) 60、	(五) 77、
	(六) 88、	(七) 90、	(八) 24、	(九) 48
	(十) 26、	(十一) 39、	(十二) 28、	(十三) 40、
	(十四) 63、	(十五) 44、	(十六) 66、	(十七) 80、
	(十八) 69、	(十九) 62、	(二十) 90、	(二十一) 96、
	(二十二) 66、	(二十三) 99、	(二十四) 80、	(二十五) 84、

答の節三第

(一) 228、	(二) 363、	(三) 284、	(四) 390、
(五) 426、	(六) 663、	(七) 462、	(八) 486、
(九) 808、	(十) 690、	(十一) 888、	(十二) 936、
(十三) 933、	(十四) 906、	(十五) 696、	(十六) 846、
(十七) 840、	(十八) 808、		

答の節四第

(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)	(七)	(八)
十八	十二	十四	十六	十八	二十四	四十八	六十四

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

第五節の續き

(一) 225、(二) 324、(三) 432、(四) 312、  
 (五) 406、(六) 504、(七) 402、(八) 539、  
 (九) 510、(十) 623、(十一) 785、(十二) 744、  
 (十三) 1092、(十四) 1904、(十五) 3185、(十六) 5096、

第六節の答

(一) 190、(二) 147、(三) 518、(四) 738、  
 (五) 402、(六) 212、(七) 372、(八) 1728、  
 (九) 948、(十) 2600、

第七節の答

(一) 7761、(二) 21692、(三) 26872、  
 (四) 23285、(五) 25812、(六) 13420、  
 (七) 40314、(八) 36617、(九) 178902、  
 (十) 291468、(十一) 195055、(十二) 276536、  
 (十三) 694048、(十四) 406422、(十五) 672579、  
 (十六) 77015、(十七) 171252、(十八) 322511、  
 (十九) 104535、(二十) 364824、(二十一) 152036、

第四節の續き

(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)	(七)	(八)	(九)
四十八	三十六	十二	二十	六十九	三十三	二十七	十八	二十一
三	二十四	十五	三	三十二	十六	十六	十六	十六
(十)	(十一)	(十二)	(十三)	(十四)	(十五)	(十六)	(十七)	(十八)
五十五	四十五	四十	二十	三十五	十	五十五	三十五	八十四
四	四	四	四	四	四	四	四	四
(十九)	(二十)	(二十一)	(二十二)	(二十三)	(二十四)	(二十五)	(二十六)	(二十七)
八	五	九	六	九	三	八	二	六
三	三	三	三	三	三	三	三	三
十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八

第五節の答

(一) 72、(二) 90、(三) 92、(四) 189、  
 (五) 174、(六) 135、(七) 205、(八) 74、  
 (九) 170、(十) 364、(十一) 315、(十二) 336、  
 (十三) 288、(十四) 365、(十五) 296、(十六) 324、  
 (十七) 415、(十八) 570、(十九) 112、(二十) 224、

山  
 學  
 算  
 術  
 卷  
 之  
 四  
 第  
 四  
 十  
 五  
 頁

山寶堂藏版

第七節の續き

- (一) 16,0272, (二) 45,0423, (三) 67,9056,
- (四) 40,3800, (五) 24,4720, (六) 54,0048,
- (七) 21,8508, (八) 23,14344, (九) 67,5511,

第八節の答

- (一) 9680 (二) 19,145, (三) 25,824,
- (四) 30,852, (五) 48,344, (六) 9,408,

第九節の答

- (一) 金千八十五圓 (二) 金六千百一十一圓
- (三) 三百八十八液 (四) 四百十着
- (五) 三百四十六斤 (六) 金三千四百六十五圓
- (七) 七百二十五枚 (八) 六百七十二海
- (九) 二千五百二十六枚 (十) 里
- (十一) 二千九百六十枚 (十二) 金千八十圓
- (十三) 金七百八十三圓 (十四) 三石
- (十五) 金六百八十三圓 (十六) 四千八百三十二圓
- (十七) 金六百四十七斤 (十八) 金千三百七十二圓
- (十九) 金六千九百三圓 (二十) 二圓

第九節の續き及び第十節の答

- (一) 2044, (二) 2826, (三) 5405,
- (四) 6575, (五) 10,064, (六) 16,605,
- (七) 13,568, (八) 19,722, (九) 17,546,
- (十) 35,742, (十一) 26,925, (十二) 25,944,
- (十三) 67,906, (十四) 73,840, (十五) 29,394,
- (十六) 89,712, (十七) 66,614, (十八) 27,9084,
- (十九) 222,165, (二十) 29,3202,
- (二十一) 57,3648, (二十二) 54,5616,
- (二十三) 49,5756, (二十四) 64,3104,

(二十五) 二万四千歩  
(二十六) 三百七十八坪

(二十七) 金一千二百圓  
(二十八) 四百八十六名

第十節の答

- (一) 36,608, (二) 56,580, (三) 11,5992,
- (四) 12,5936, (五) 20,5356, (六) 22,0990,
- (七) 16,5884, (八) 24,3672, (九) 61,9339,
- (十) 8,6904, (十一) 26,5088, (十二) 43,3919,
- (十三) 33,1020, (十四) 77,1768, (十五) 19,50396,
- (十六) 130,7630, (十七) 39,70418,

(十八) 千八百七十二間

山寶堂藏版

小島全書卷之四  
 卷之四  
 二上野宮前版

第十節の續き

(大)420,2646、(支)212,2228、(千)311,8290、  
 (百)390,5419、(百)163,7778、(百)258,7728、  
 (百)134,76155、(百)1155,7712、  
 (百)1514,4470、(百)2495,6076、

第二十節の卷

(一)721,7622、(二)2054,5560、(三)4428、  
 0444、(四)1981,3596、(五)1841,6268、  
 (六)3399,3527、(七)3315,1430、(八)1959、  
 95980、(九)1,0948,2528、(十)510,6200、  
 (十一)746,5000、(十二)705,0000、(十三)1201、  
 0400、(十四)4560,0000、(十五)2300,7600、  
 (十六)2277,0000、(十七)418,0000、(十八)1949、  
 9000、(十九)2320,0000、(二十)1796,0644、

第三十節の卷

(一)55,0550、(二)132,6132、(三)291,8576、  
 (四)63,6202、(五)694,7122、(六)1594,7712、

第四十節の卷

(一)八百十石 (二)千五百四十一圓 (三)四百六十八束  
 (四)二百八十五脚 (五)金四百三十二圓 (六)一万五百步  
 (七)二千五百二十間 (八)二千八百三十八ヤード  
 (九)金九百六十圓 (十)千四百四十分 (十一)六百六十五坪  
 (十二)四百七十六束 (十三)千百五十二名 (十四)三千四百八十枚  
 (十五)六百二十四海里 (十六)一千二百斤 (十七)七万六百人  
 (十八)金一千六百二十圓 (十九)金六千百一十一圓  
 (二十)金一千七百六十四圓 (二十一)一万八千三百七十五枚  
 (二十二)六千百十ヤード (二十三)金一千六百十六万七千三百七十五圓  
 (二十四)金七千二百一十三万三千七百七十八圓 (二十五)一億三千五百五十五万八千  
 三百四圓 (二十六)金一万七千七百九十五圓 (二十七)六千九百二人  
 (二十八)一千二百七十二町 (二十九)金九百四十五圓

小島全書卷之四  
 卷之四  
 二上野宮前版

第五十節の卷

- (一) 二千八百二十、
- (二) 二千七百十四、
- (三) 二百八十四、
- (四) 金五百九十六圓
- (五) 金二十四圓
- (六) 金二十三錢
- (七) 金三百七十四圓
- (八) 金百零六圓
- (九) 金七十圓

- (十) 226、(十一) 620、(十二) 360、
- (十三) 177、(十四) 316、(十五) 7612、
- (十六) 19030、(十七) 450、
- (十八) 396、(十九) 832、

- (二十) 三合入四合多
- (二十一) 益金二十圓 (二十二) 益金四圓
- (二十三) 十八錢の煙草二十七錢
- (二十四) 金四百四十四圓
- (二十五) 金二千百九十七圓
- (二十六) 二千六百二十六坪
- (二十七) 二百六十三里
- (二十八) 五百六十四俵
- (二十九) 九十日 (三十) 百四十四日
- (三十一) 二万七千八百四十字
- (三十二) 六海里

小學算算教科書卷之四終

版權免許

明治二十年七月廿一日

四卷定價

出版發行

明治二十年八月廿七日

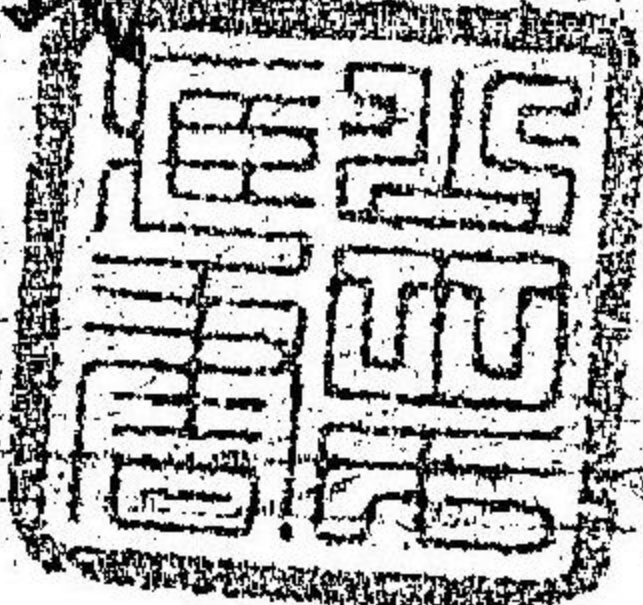
金八錢五厘

著者

京都府尋常中學校教員

山田正一

上京區第廿二組近衛町三拾五番屋平良



出版者

京都府平民

福井源次郎

下京區第六組三條通寺町東拾三番



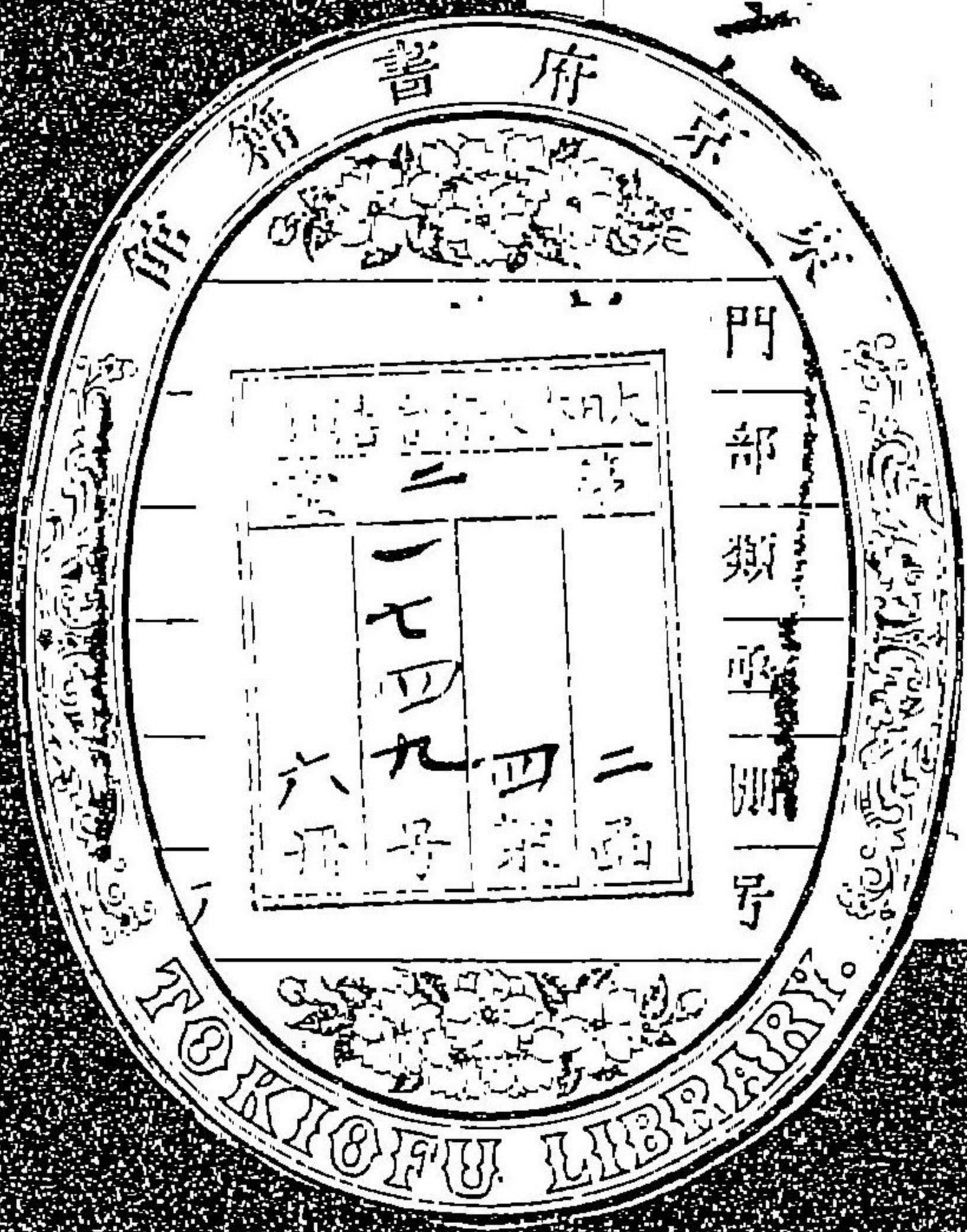


發蒙  
一端

理學問答

中篇二

密 35  
3  
六



四  
冊